

## 里山歳時記 稲刈り

- 開催日 2018年9月29日（土）
- 会場 国際自然大学校 日野春校（山梨県北杜市）
- ディレクター名 鷲田 晋（ワッシー）

### ■キャンプのねらい

●稲刈り体験を通じて、作物を作る大変さ、収穫の喜び、食べ物の大切さを伝える。

### ■同行スタッフ（キャンプネーム）

こばりん、ほっそー、こっこ、しお、ラミ、こっとん

### ■活動内容

<午前>  
集合  
稲刈り  
昼食

<午後>  
昔の脱穀体験  
ふりかえり



親子で一緒に稲刈り。親子キャンプならではの風景。



刈るだけではなく、稲を束ねることもチャレンジしました。



雨天の中ですが、みなさんががんばって稲刈りをしてくれました。



豪華なお昼ご飯に、お母さんたちは感激。



地元長坂ファームの方の指導のもと、昔の農具を使っての脱穀体験。



すり鉢と野球ボールでもみすり作業。稲穂を玄米にします。

### ■キャンプのエピソード

#### ざぶとんも遊具に変身

昼食後の出来事です。広間を片づけ、テーブルをしまい、ざぶとんを重ねて積みました。次のプログラムまで時間はあるのですが、残念ながら雨で外では遊べません。するとその高く積み上げられたざぶとんで、子ども達が遊びはじめました。高いざぶとんを崩れる反動を利用して、すべり台のようにすべり始めたのです。楽しいことがあると集まってくるのが子ども達の習性。順番を決めて遊びだすと、みんなすっかり仲良くなっていました。どんなものでも遊びに変えてしまう、子ども達の想像性と創造性に改めて驚かされました。

#### 稲を発芽させるためには

「この稲穂を植えると芽がでるのですか？発芽した稲を見たいのですが・・・」。収穫した稲穂を見ながら、こんな質問をいただきました。もちろん発芽しますが、そのためには準備が必要です。まず種を塩水につけて種を選別しなくてはなりません。底に沈んだよく実った種をタネモミとして使用します。それを消毒して、数日水につけてから、植えると発芽します。自分で植えた種を発芽させて、苗を作り、バケツに移して稲を育てる。そんな農家体験を、お土産用の稲穂を使って、試してみたいはいかがでしょうか。